

## 第3期 柏市地域健康福祉計画基本方針における主要事業の評価

第3期 柏市地域健康福祉計画の体系（現計画）	第3期計画基本方針（各柱）における主要事業の評価 【事業検証シートより一部事業を抜粋】																																																																																																		
<p><b>[地域健康福祉像]</b> だれもが、その人らしく、住み慣れた地域で、共に、いきいきと暮らせるまち 柏</p> <p><b>[基本方針]</b></p> <p><b>柱1 みんなで支え合う地域づくり</b></p> <p>(1) 活動組織への支援の充実</p> <p>(2) 人材の育成・発掘・コーディネート の充実</p> <p>(3) 活動拠点の活用と設置支援の充実</p> <p><b>【柱1 総合評価】</b> ※事業評価・アンケート・ワークショップより</p> <p>キーワード 「住民参加」「地域福祉活動の活性化」「交流拠点の整備」</p> <p><b>【課題①】</b></p> <p>身近な地域での活動の促進にむけて、積極的に参加できるように、情報提供やコーディネートを行うことが必要。また、地域での交流を促進し、地域に関心をもつ人を増やしていくことが必要。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e0f2f1;">基本方針の推進に</th> <th style="background-color: #e0f2f1;">事業数</th> <th style="background-color: #e0f2f1;">率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>十分寄与している</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">18%</td> </tr> <tr> <td>寄与しているが事業の改善が一部必要である。</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">55%</td> </tr> <tr> <td>一定程度寄与しているが、事業の改善等が必要である。</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">27%</td> </tr> <tr> <td>その他（事業の見直し等）</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">100%</td> </tr> </tbody> </table>	基本方針の推進に	事業数	率	十分寄与している	2	18%	寄与しているが事業の改善が一部必要である。	6	55%	一定程度寄与しているが、事業の改善等が必要である。	3	27%	その他（事業の見直し等）	0	0%	合計	11	100%	<p><b>柱1 主要事業</b></p> <p><b>(1) 地域の支え合いの充実と体制整備</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">数値的な進捗</th> <th style="width: 10%;">指標</th> <th colspan="5">たすけあい活動団体数</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">実績値</th> <th style="text-align: center;">H26年度 (基準値)</th> <th style="text-align: center;">H27年度</th> <th style="text-align: center;">H28年度</th> <th style="text-align: center;">H29年度 (次期計画基準値)</th> <th style="text-align: center;">H30年度 (見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">51</td> <td style="text-align: center;">52</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>事業評価</b></p> <p>多様な組織が集う研修等を開催し、情報交換の場を設ける等、地域での支えあい体制の構築を進めてきた結果、着実に住民主体のたすけあい団体や居場所が増加してきている。今後も活動団体の立ち上げを支援していくとともに、既存団体の利用促進、担い手の確保、多様な組織との連携等の課題に取り組むことで、さらなる支えあいの推進を図っていく。</p> <p><b>(2) 地域いきいきセンター整備</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">数値的な進捗</th> <th style="width: 10%;">指標</th> <th colspan="5">設置箇所数</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">実績値</th> <th style="text-align: center;">H26年度 (基準値)</th> <th style="text-align: center;">H27年度</th> <th style="text-align: center;">H28年度</th> <th style="text-align: center;">H29年度 (次期計画基準値)</th> <th style="text-align: center;">H30年度 (見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>事業評価</b></p> <p>地域づくり・子育て・障害者・高齢者支援等の充実を図るため、近隣センターを拠点として、身近な福祉の相談窓口として設置してきた。支えあいの推進については、地域のリーダーや担い手の日常的なフォローし、ボランティアの育成・紹介を実施した。当センターの周知と専門職の確保・人材育成が今後の課題。</p> <p><b>(3) 子育て支援者の育成とネットワークの拡大</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">数値的な進捗</th> <th style="width: 10%;">指標</th> <th colspan="5">子育て支援員(地域子育て支援拠点その他)認定者数</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">実績値</th> <th style="text-align: center;">H26年度 (基準値)</th> <th style="text-align: center;">H27年度</th> <th style="text-align: center;">H28年度</th> <th style="text-align: center;">H29年度 (次期計画基準値)</th> <th style="text-align: center;">H30年度 (見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">未実施</td> <td style="text-align: center;">事業検討</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">52</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>事業評価</b></p> <p>子育て分野に特化した啓発事業や情報誌作成等の活動の充実や活動へのきっかけづくり、子育て支援員研修により人材の発掘や支援者同士のつながりができてきているが、今後も自立的・継続的な活動へつながる工夫が求められる。</p> <p><b>(4) はぐはぐひろば(地域子育て支援拠点)事業の整備運営</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">数値的な進捗</th> <th style="width: 10%;">指標</th> <th colspan="5">利用者数</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">実績値</th> <th style="text-align: center;">H26年度 (基準値)</th> <th style="text-align: center;">H27年度</th> <th style="text-align: center;">H28年度</th> <th style="text-align: center;">H29年度 (次期計画基準値)</th> <th style="text-align: center;">H30年度 (見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">16,211</td> <td style="text-align: center;">25,969</td> <td style="text-align: center;">30,000</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>事業評価</b></p> <p>2拠点を開設し、子育ての当事者である乳幼児の保護者同士が支え合い、子ども同士も育ち合う関係をつくることのできる場を創設し、新たな集いの場の創設の一助となったと考えられる。今後、地域バランスや人口動態を考慮した新規整備が必要となってくると考えられる。</p>	数値的な進捗	指標	たすけあい活動団体数					実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)			31	38	44	51	52	数値的な進捗	指標	設置箇所数					実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)			3	4	4	5	5	数値的な進捗	指標	子育て支援員(地域子育て支援拠点その他)認定者数					実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)			未実施	事業検討	32	32	52	数値的な進捗	指標	利用者数					実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)			-	-	16,211	25,969	30,000
基本方針の推進に	事業数	率																																																																																																	
十分寄与している	2	18%																																																																																																	
寄与しているが事業の改善が一部必要である。	6	55%																																																																																																	
一定程度寄与しているが、事業の改善等が必要である。	3	27%																																																																																																	
その他（事業の見直し等）	0	0%																																																																																																	
合計	11	100%																																																																																																	
数値的な進捗	指標	たすけあい活動団体数																																																																																																	
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)																																																																																													
		31	38	44	51	52																																																																																													
数値的な進捗	指標	設置箇所数																																																																																																	
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)																																																																																													
		3	4	4	5	5																																																																																													
数値的な進捗	指標	子育て支援員(地域子育て支援拠点その他)認定者数																																																																																																	
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)																																																																																													
		未実施	事業検討	32	32	52																																																																																													
数値的な進捗	指標	利用者数																																																																																																	
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)																																																																																													
		-	-	16,211	25,969	30,000																																																																																													

柱2 情報が共有され相談しやすい地域づくり

(1) 情報発信の充実

(2) 相談体制の充実

【柱2 総合評価】

※事業評価・アンケート・ワークショップより

キーワード 「総合相談窓口の整備・周知」「地域生活課題の早期発見」

【課題②】

支援が必要な人に情報が届くように地域の相談者と連携し、地域・行政の重層的な相談のネットワークを構築し相談をしやすい環境を充実していくことが必要。

キーワード 「総合相談窓口の整備・周知」「多機関の連携・協働」「権利擁護」「情報共有」

【課題③】

複雑化・多様化する福祉課題に対応するため、施策分野ごとの相談支援機関等と行政機関、雇用、住まい等保健福祉部局以外の行政機関内の関係課、社会福祉協議会や地域福祉活動団体が問題を共有し、連携して支援を行うことが重要。

基本方針の推進に	事業数	率
十分寄与している	3	23%
寄与しているが事業の改善が一部必要である。	8	61%
一定程度寄与しているが、事業の改善等が必要である。	1	8%
その他（事業の見直し等）	1	8%
合計	13	100%

柱2 主要事業

(1) 地域包括支援センター事業

数値的な進捗	指標	・地域包括支援センターへの相談や問い合わせへの対応満足度 ・相談件数				
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)
		— 25,125	— 25,094	— 28,356	87.2% —	88.0% —

事業評価

平成29年度からの認知症相談日の開設や平成30年度からの土曜日開設による相談支援体制の整備を行っている。また、地域包括支援センターの増設により、より身近な地域で高齢者等に関するワンストップの相談窓口として民生委員児童委員等の地縁型組織や福祉活動団体とのネットワークを図りながら機能強化を図ってきた。

対応職員の資質向上や市の委託事業運営に対する後方支援体制を充実させて、多機能化しているセンター業務が適切に遂行できる実施体制とさらなる職員の資質向上を図っていく。

(2) 地域生活支援センター事業（あいネット）

数値的な進捗	指標	新規相談受付件数				
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)
		—	517	537	608	656

事業評価

支援員自身の技能向上に努め、また、市役所内外の関連機関と連絡調整会議・運営協議会を定期的に行い情報交換、課題の共有を行っている。今後も関係団体と問題を共有しながら連携した支援体制を構築していく事が重要である。

制度が始まった平成27年度から利用者が増加してきており、福祉の相談窓口としての役割を果たしてきている。しかし、国で定めている目標には及ばないため、更なる周知を行っていききたい。

(3) 利用者支援事業（基本型）

数値的な進捗	指標	利用件数				
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)
		—	—	—	591	700

事業評価

1ヵ月あたり約60件の相談を受けており、子育て家庭のニーズにあった事業といえる。また、気になる親子の発見・継続的な見守りにもつながっており、支援につなぐ最初の窓口としての機能も果たしているため、総合的な相談体制の構築の一助となっていると考えられる。

現在1か所で、市全域からの利用に対応しており、今後、事業の拡充が求められる。

柱3 健やかに暮らせる地域づくり

(1) 地域を核とした健康づくりの促進

(2) 地域福祉医療体制の充実

(3) 生きがい活動への参加促進

【柱3 総合評価】

※事業評価・アンケート・ワークショップより

キーワード 「フレイル予防」

【課題④】

若い時からの生活習慣病予防や、ライフステージに応じた健康づくり活動の推進が必要。

基本方針の推進に	事業数	率
十分寄与している	3	27%
寄与しているが事業の改善が一部必要である。	7	64%
一定程度寄与しているが、事業の改善等が必要である。	0	0%
その他（事業の見直し等）	1	9%
合計	11	100%

柱3 主要事業

(1) フレイル予防事業

数値的な進捗	指標	フレイルチェック講座の参加者数 (フレイルチェックで自身の現在のフレイル兆候を把握した上で、フレイル予防に努めてもらうことが効率的であり、またフレイル予防の基本を学ぶことができる講座である。)				
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度 (基準値)	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)
		—	449	843	847	1,000

事業評価

フレイルチェック参加者のアンケートについて東京大学高齢社会総合研究機構が分析したところ、「意識と行動が変わった」という参加者が6割超えた。さらに、フレイルチェックを受ける回数が増えるごとに、健康リテラシーが高くなっているという分析結果も出ている。生活習慣病予防やライフステージに応じた健康づくり活動を推進し、今後もフレイル予防の意識啓発を強化する。

(2) 在宅医療・介護連携推進事業

数値的な進捗	指標	在宅医療の認知度				
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)
		—	—	55.0%	—	—

事業評価

平成27年度に改正された介護保険法の地域支援事業として市区町村が原則実施すべきとされた事業項目については実施できていることから、基本方針に寄与していると考えられる。

一方、課題に対応するため、在宅医療推進体制のさらなる構築を進めるとともに、市民が在宅医療をイメージしやすいような情報発信に取り組む必要がある。

(3) 高齢者の就労・社会参加促進事業

数値的な進捗	指標	就労決定者数				
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)
		36	44	29(～28.11) ※22(28.11～)	60	50

事業評価

平成29年度から3箇年は厚生労働省の「生涯現役促進地域連携事業」を市が参画する生涯現役促進協議会が受託することにより事業を実施している。就労実績は、計画を上回り増加しており、今後も引き続き協議会を中心として、関係機関等との連携を強化し、高齢者の就労・社会参加を促進する必要がある。平成31年度の厚生労働省による委託事業終了後の当事業の効果的な展開方法について検討が必要となる。

今後も引き続き協議会を中心として、関係機関等との連携を強化し、年齢にかかわらず多様な就労・社会参加を可能とするシステム構築を進める必要がある。

柱4 安全安心に暮らせる地域づくり

(1) 防災・防犯対策等の充実

(2) 移動・居住支援の充実

(3) 権利擁護体制の充実

【柱4 総合評価】

※事業評価・アンケート・ワークショップより

キーワード 「防災」

【課題⑤】

K-Netの周知や自主防災組織と連携し、いざとなったときに助け合い避難できるような地域づくりが必要。

基本方針の推進に	事業数	率
十分寄与している	1	6%
寄与しているが事業の改善が一部必要である。	13	81%
一定程度寄与しているが、事業の改善等が必要である。	2	13%
その他（事業の見直し等）	0	0%
合計	16	100%

柱4 主要事業

(1) 防災福祉K-Net事業

数値的な進捗	指標	支援体制構築町会数 名簿提供町会数				
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)
		53 232	81 235	94 239	102 236	110 240

事業評価

避難行動要支援者名簿の受取をしている町会および支援体制を構築している町会は少しずつではあるが、毎年増加しており、町会等への地道な周知活動、支援活動が大切であると考えている。また、町会役員の高齢化等に伴う支援者のなり手不足等、地域がかかえる課題を一緒になって考え、支援体制の構築につなげる必要がある。今後も事業の更なる周知を行い、自主防災組織と連携した、地域の避難支援体制の構築を推進する。

(2) 高齢者権利擁護ネットワーク事業

数値的な進捗	指標	高齢者の権利擁護に関する相談件数 ※平成29年度より実件数				
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)
		2,300	3,804	3,990	405※	500

事業評価

地域包括支援センターによる権利擁護の啓発や虐待を疑われるケースへの早期対応を実施しており、必要に応じ市による緊急一時保護を実施している。消費者被害等の講座への市民参加は多いが、成年後見制度や高齢者虐待については関心が低い傾向にあるため、他の講座とあわせて行うなど工夫が必要である。

(3) 成年後見事業（かしわ福祉権利擁護センター）

数値的な進捗	指標	市民後見人の育成と自立（市民後見人と後見支援員の合計） 市民後見人の選任				
	実績値	H26年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度 (次期計画基準値)	H30年度 (見込み)
		17 検討	17 裁判所との調整	17 裁判所との調整	26 1	26(養成講座実施) 2

事業評価

成年後見に関する相談の常時対応など、安定した成年後見事業を実施し、制度の利用促進を図っている。また、市民後見人の養成・育成を継続的に行い、安心して市民後見人が活動できる支援環境を整え、市民後見人単独での選任に至っている。一方、「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が施行されたことを受け、成年後見制度の利用の促進に関する施策を計画的に推進し、成年後見制度の更なる普及啓発に努める必要がある。

## 第4期 柏市地域健康福祉計画の体系（案）

基本理念	だれもが、その人らしく、住み慣れた地域で、共に、いきいきと暮らせるまち 柏		
新計画立案に向けた課題 <small>（事業評価、市民アンケート、市民ワークショップから見えてきた課題）</small>	基本方針	基本施策	取り組み <small>（改正社会福祉法により国のガイドラインに該当する新たな取り組みは、法第106条の3関係は◎、法第107条関係は☆で記載）</small>
<b>キーワード</b> 「住民参加」「地域福祉活動の活性化」「交流拠点の整備」 <b>課題①</b> 身近な地域での活動の促進にむけて、積極的に参加できるように、情報提供やコーディネートを行うことが必要。また、地域での交流を促進し、地域に関心をもつ人を増やしていくことが必要。	<b>柱1</b> <b>だれもが身近な地域の問題に関心を持ち共に支えあう地域づくり</b>	(1) 地域での支えあい、助けあい活動の促進	◎①地域生活課題の解決に向けた住民参加の促進 <b>課題①</b> ◎②コーディネートの充実 <b>課題①</b> ☆③見守り活動の推進 ④意識啓発・福祉教育の充実
		(2) 地域福祉活動団体への支援及び交流拠点の整備	①地域福祉団体への支援 ②地縁型組織や目的型組織同士の連携の促進 ◎③活動・交流拠点の整備充実 <b>課題①</b>
		(3) 地域福祉を担う人材の育成	①多様な活動分野における人材の育成 ②ボランティア活動機会の提供
<b>キーワード</b> 「総合相談窓口の整備・周知」「地域生活課題の早期発見」 <b>課題②</b> 支援が必要な人に情報が届くように地域の相談者と連携し、地域・行政の重層的な相談のネットワークを構築し相談をしやすい環境を充実していくことが必要。 <b>キーワード</b> 「総合相談窓口の整備・周知」「多機関の連携・協働」「権利擁護」「情報共有」 <b>課題③</b> 複雑化・多様化する福祉課題に対応するため、施策分野ごとの相談支援機関等と行政機関、雇用、住まい等保健福祉部局以外の行政機関内の関係課、社会福祉協議会や地域福祉活動団体が問題を共有し、連携して支援を行うことが重要。	<b>柱2</b> <b>だれもが暮らしの問題を相談でき解決できる仕組みづくり</b>	(1) 相談窓口の充実	☆①総合的な相談支援体制の充実 <b>課題③</b> ②個別相談窓口の充実 ③相談窓口の周知の徹底 ◎④専門的人材の育成 <b>課題③</b>
		(2) 相談体制のネットワークの構築	◎①地域での相談体制の構築 <b>課題②</b> ◎②多機関の連携・協働 <b>課題③</b>
		(3) 情報発信の充実	①情報の多様な発信の強化 ②情報バリアフリーの推進
<b>キーワード</b> 「フレイル予防」 <b>課題④</b> 若い時からの生活習慣病予防や、ライフステージに応じた健康づくり活動の推進が必要。	<b>柱3</b> <b>だれもが健康でいきいきと暮らせる地域づくり</b>	(1) 地域を核とした健康づくりの促進	①身近な地域での健康づくりの促進 <b>課題④</b> ②生活習慣病の予防の促進 <b>課題④</b> ③こころの健康づくりの充実
		(2) 地域医療の充実	①在宅医療の普及と定着 ②救急医療体制の整備 ③在宅サービス提供体制の充実
		(3) 社会参加の促進	①高齢者・障害者の社会参加
<b>キーワード</b> 「防災」 <b>課題⑤</b> K-Netの周知や自主防災組織と連携し、いざとなったときに助け合い避難できるような地域づくりが必要。	<b>柱4</b> <b>だれもが安全・安心に暮らせる環境づくり</b>	(1) 防災・防犯対策の充実	①平常時の防災・減災対策の充実 ☆②災害時の対策の充実 <b>課題⑤</b> ③防犯対策等の充実
		(2) 居住・移動支援の充実	①居住支援の充実 ②移動手段の充実 ③バリアフリー化の促進
		(3) 権利擁護の推進	☆①虐待の防止 ☆②権利擁護の仕組みの周知と利用促進 <b>課題③</b>